

経営者保証を外したい

経営者が絶対に知っておくべき事

なぜ金融機関は経営者保証を求めるのですか？

1. 金融機関が自らを守るため（リスク軽減）
2. 経営者に緊張感を持ってもらうため（コミットメントの確保）
3. 借りる側にとって有利な貸出条件にすることができる
4. 審査が通りやすくなる

このような理由が考えられます。

金融庁の監督指針が変わったそうですが？

1. 金融機関は個人保証を求める理由を説明しなければならなくなった
 2. 経営者保証を外す方法について個別具体的に説明しなければならなくなった
 3. 上記1について書面又は電磁的方法で記録しておかなくてはならなくなった
- 以上のように金融機関にとって厳しい変更となりました。

経営者保証を求められたときはどうすればいいですか？

1. 経営者保証を求める理由を具体的に聞く
2. 経営者保証を外すための具体的な条件を聞く
3. 上記1と2を自分で記録しておく

言われるままにするのではなく、こちらからも聞くべきことは聞きましょう。

経営者保証ガイドラインの3要件

- ①法人と個人の分離
- ②財務基盤の強化
- ③積極的な情報開示

経営者保証を外すための2つのルート

- ①経営者保証免除制度の利用
⇒ 日本政策金融公庫や保証協会の該当制度を利用する
- ②ガイドラインの要件を満たして金融機関と交渉を行う
⇒ （裏面参照）

経営者保証を外す交渉のため

事前準備チェックリスト

項目	決算書の該当箇所	<input checked="" type="checkbox"/>
①経営者貸付・仮払いを解消する (経営者に対する不明瞭な資金の流れはないか?)	B/S	<input type="checkbox"/>
どのように改善するか:		
②EBITDA 有利子負債倍率を 10 倍以内にする (借入金－現預金) / (営業利益＋減価償却費)	B/S と P/L	<input type="checkbox"/>
どのように改善するか:		
③自己資本比率を高める 純資産 / 総資本	B/S	<input type="checkbox"/>
どのように改善するか:		
④事業計画書を作成する		<input type="checkbox"/>
どのように改善するか:		
⑤毎月金融機関を訪問し、試算表の提出と業況報告を行う		<input type="checkbox"/>
⑥経営者保証を外すことに詳しい専門家のサポートを受ける		<input type="checkbox"/>

B/S：貸借対照表

P/L：損益計算書